

2018年(平成30年) 3月期

2017年(平成29年) 4月1日 ~ 2018年(平成30年) 3月31日

連結決算の概要

株式会社 ジェイ・エム・エス

(証券コード 7702)

2018年5月11日

業績ハイライト

～2018年3月期～



百万円

	2017年3月期	2018年3月期	増減額	対前期増減率
売上高	55,574	56,520	945	1.7%
営業利益	1,106	573	△532	△48.1%
経常利益	1,451	820	△631	△43.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,182	631	△551	△46.6%
1株当たり当期純利益(※)	48円51銭	25円91銭	---	---

為替レート (期中平均)	米ドル	108.38円	110.85円
	ユーロ	120.33円	126.67円
	シンガポールドル	78.26円	81.74円

～増収減益～

売上	日本	- 抗がん剤投与関連製品の販売が拡大 - 外科治療関連製品の販売が減少	利益	- 労務費に加え、販売費や研究開発費の増加により営業利益は減少 - 持分法による投資利益の計上の一方で為替差損が増加し経常利益は減少
	海外	- 成分献血用回路の販売が増加 - 個人用血液透析装置の販売が拡大	配当金	・中間配当4円(株式併合前の金額)、期末配当8円(株式併合後の金額) *株式併合を考慮しない場合の期末配当金は4円となり、1株当たりの年間配当金は8円となります。

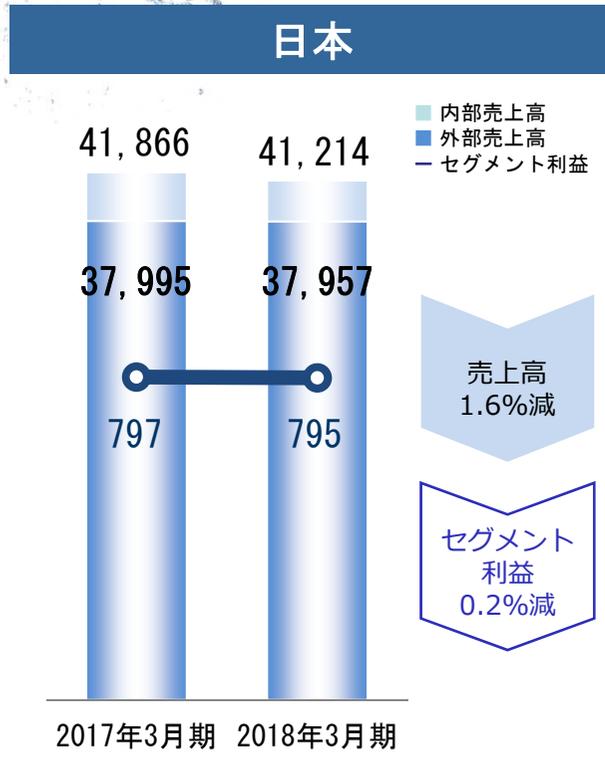
※2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

セグメント業績

※所在地別、経常利益ベース

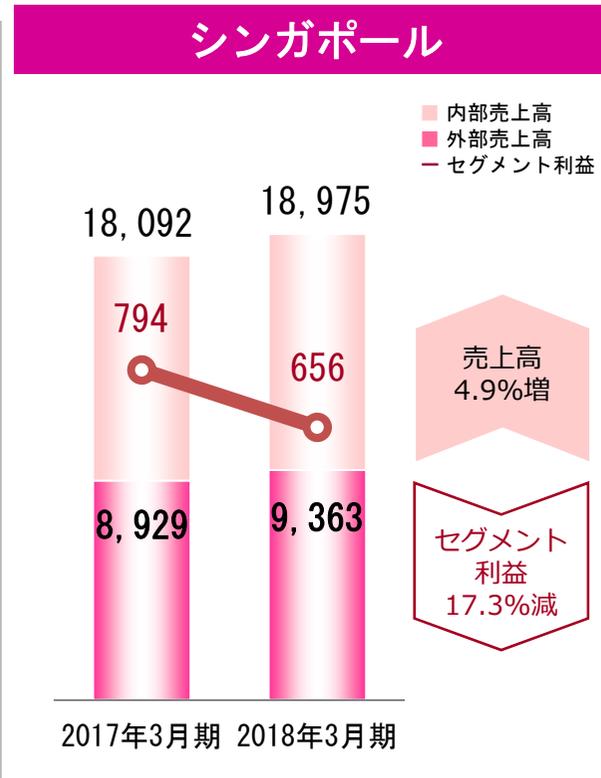


百万円



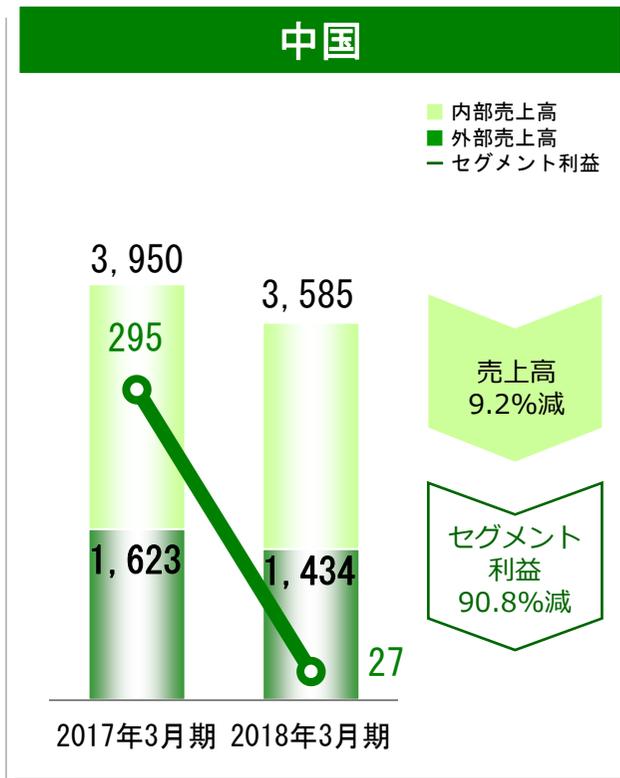
【売上】
個人用血液透析装置や抗がん剤調製・投与クローズドシステム「ネオシールド」の販売が拡大。セグメント間の内部売上高が減少。

【利益】
減収の影響に加え、研究開発費が増加。



【売上】
北米向けの成分献血用回路の販売が増加。

【利益】
労務費の増加に加え、為替が不利に作用。



【売上】
中国国内向けのダイアライザー（人工腎臓）の販売が減少。

【利益】
減収の影響に加え、販売費が増加。

セグメント業績

※所在地別、経常利益ベース



百万円

フィリピン



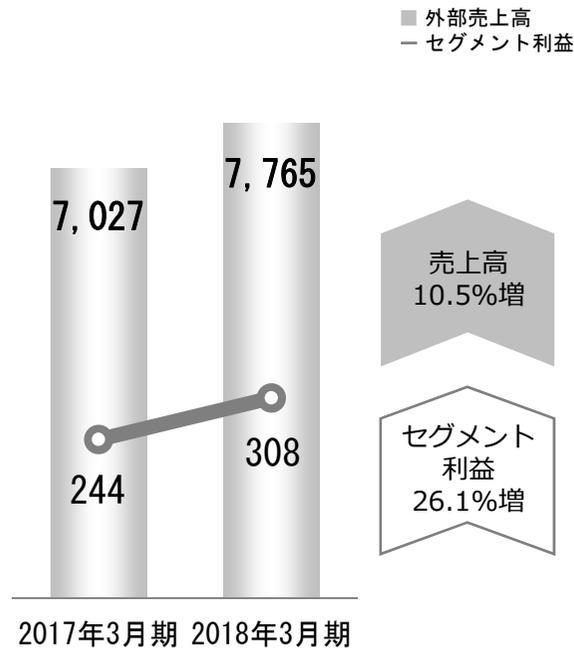
【売上】

日本向けの輸液セットの販売が増加。

【損益】

増収効果により改善。

その他



※その他は、国内子会社及びドイツ、アメリカ、韓国の現地法人の事業活動を含んでいます。

— 製品紹介 —

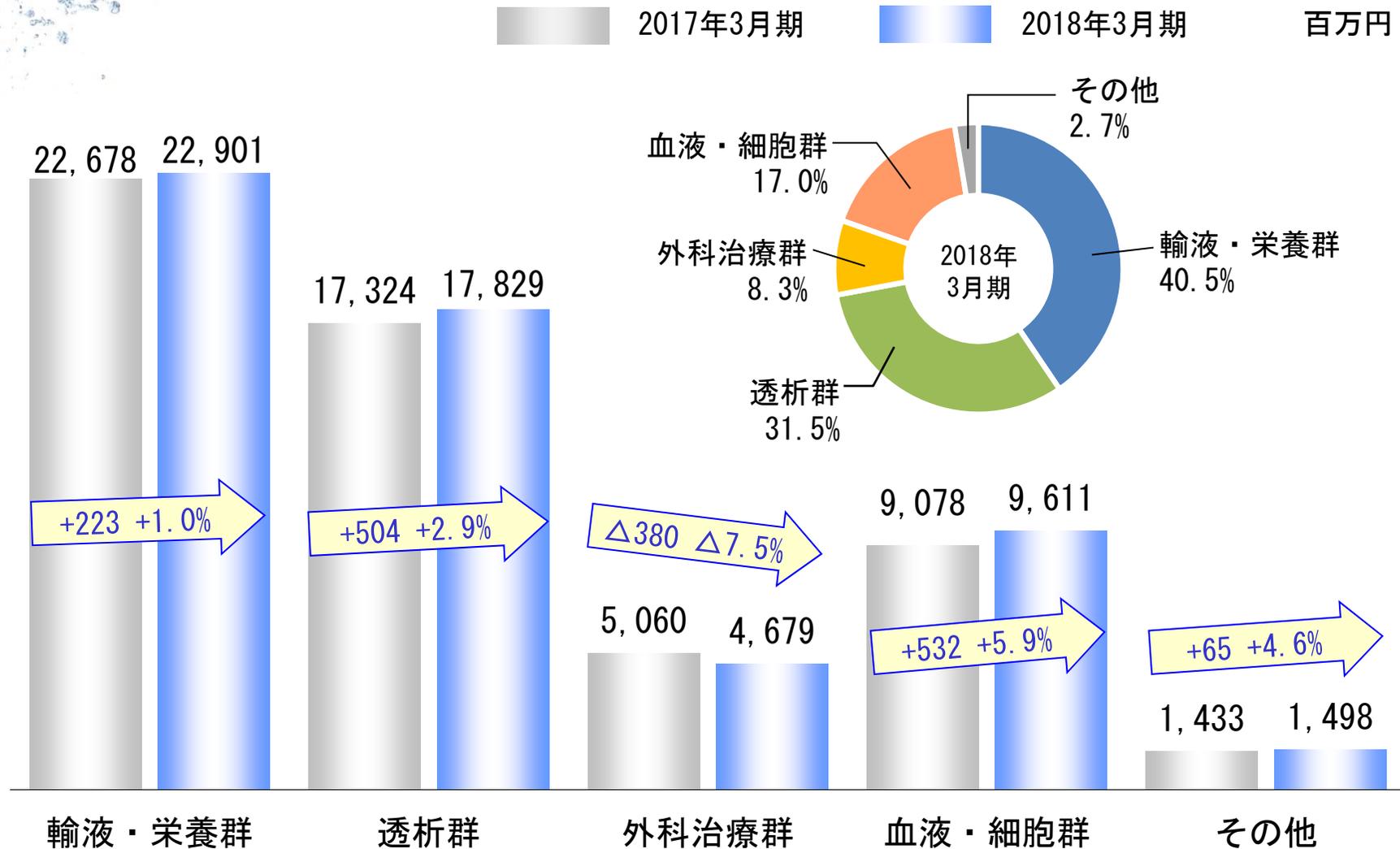


抗がん剤調製・投与クローズドシステム「ネオシールド」

抗がん剤を調製・投与する際に使用される医療機器です。閉鎖系の機構により薬剤飛散リスクを軽減し、医療従事者の方々の抗がん剤曝露から守ります。

～当連結会計年度より、報告セグメントの区分及び名称の記載方法を変更しています～
 ・従来「その他」に含まれていた「フィリピン」は重要性が増したため、報告セグメントとして記載しています。
 ・従来の「ドイツ」及び「アメリカ」は「その他」に含めています。
 ・従来の「東南アジア」は「シンガポール」に名称変更しています。
 ・前期のセグメント情報は、変更後の区分及び名称により作成したものを記載しています。

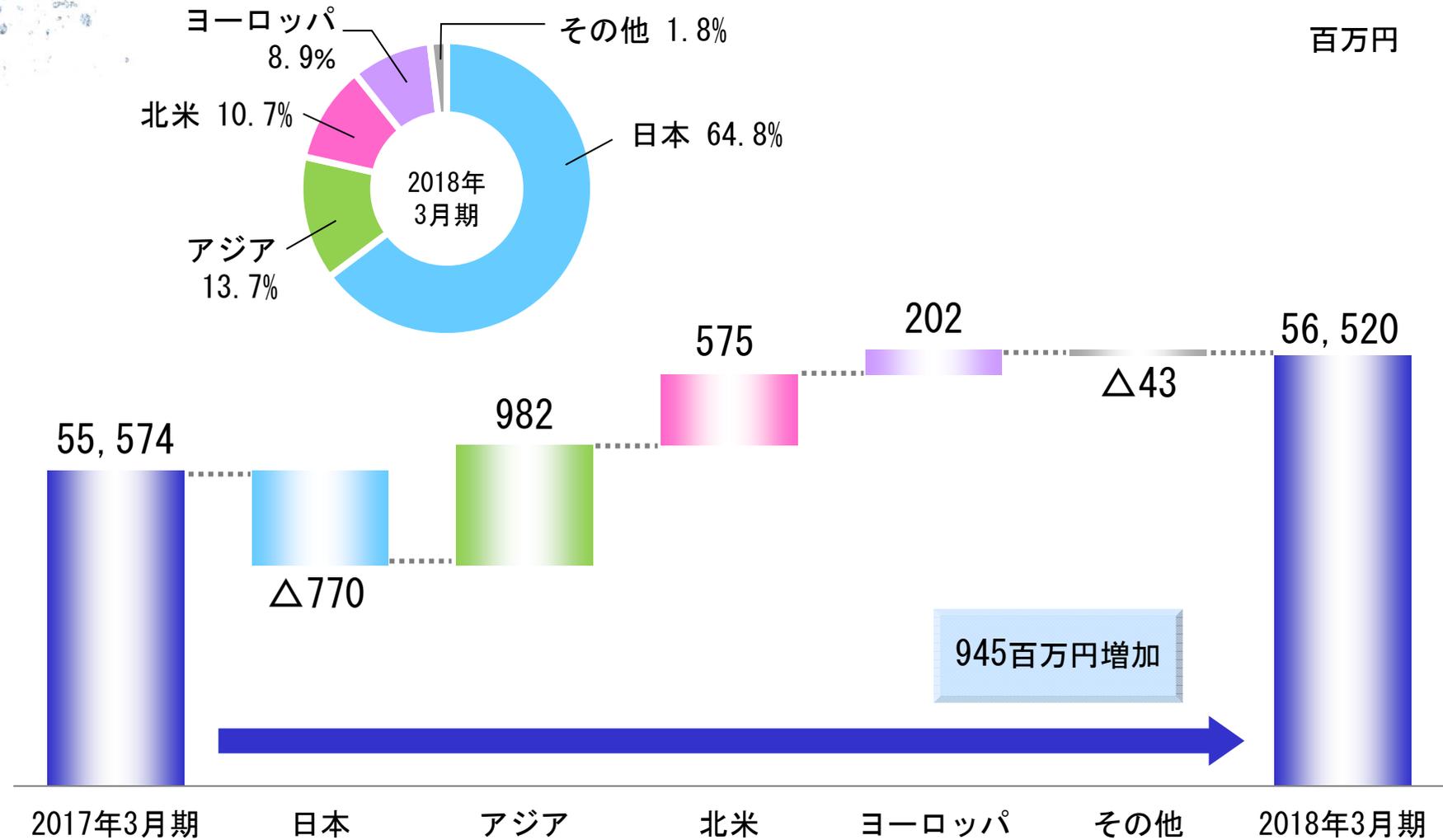
システム別売上高



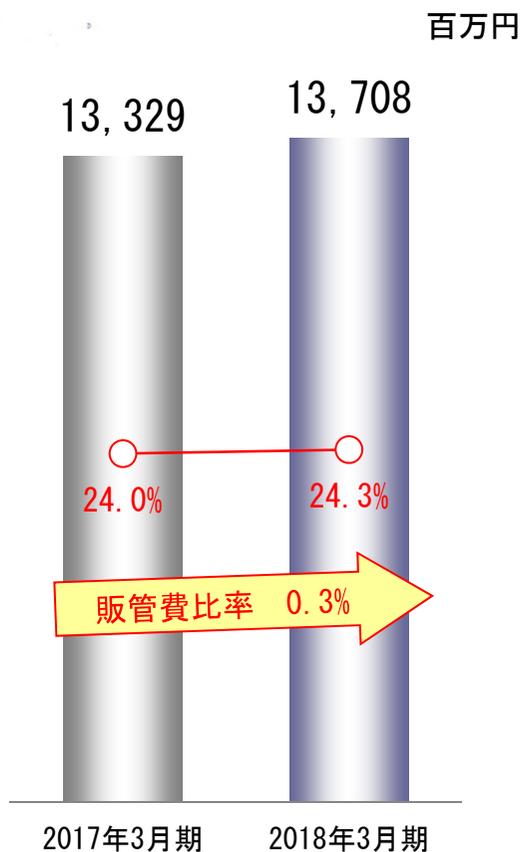
*組織再編に伴いシステム別の記載区分を変更しています。前期のシステム情報は、変更後の区分及び名称により記載しています。

売上高増減分析

※顧客所在地別



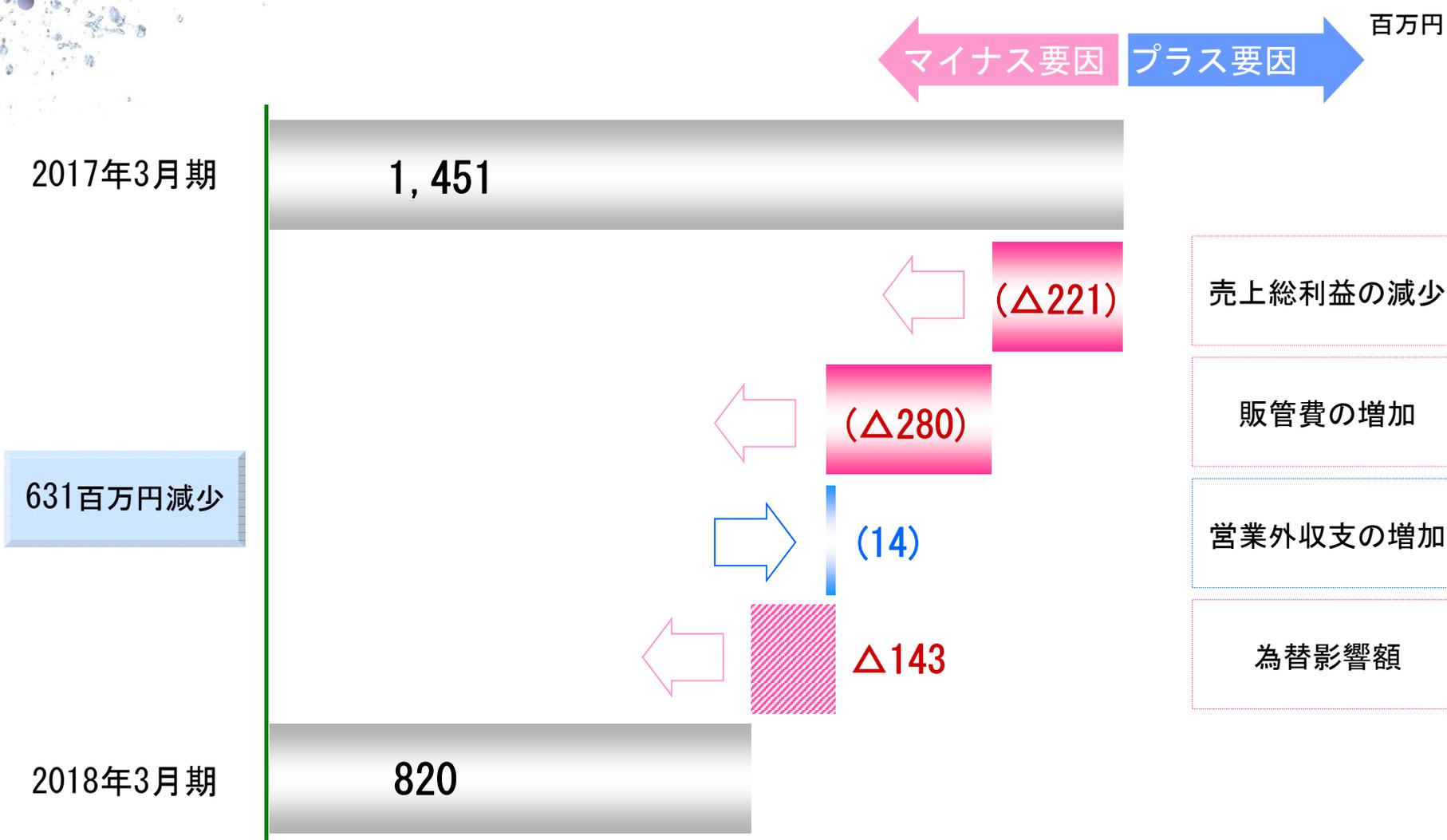
販売費及び一般管理費



百万円

	2017年 3月期	2018年 3月期	増 減	対前期 増減率
人 件 費	5,732	5,767	34	0.6%
運 送 費	1,576	1,614	38	2.4%
研究開発費	1,462	1,553	90	6.2%
減価償却費	381	346	△34	△9.1%
そ の 他	4,176	4,426	250	6.0%
計	13,329	13,708	379	2.8%

経常利益：前期実績との比較



()内は為替影響を除く

2019年3月期 通期連結業績予想



百万円

	2018年3月期 実績	2019年3月期 予想	対前期 増減率
売上高	56,520	58,000	2.6%
営業利益	573	1,000	74.3%
経常利益	820	1,200	46.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	631	800	26.7%
1株当たり 当期純利益	25円91銭	32円83銭	---

為替レート（期中平均）

米ドル	110.85円	105円
ユーロ	126.67円	130円
シンガポールドル	81.74円	82円

中期経営計画《GAIN 2020》

期間：2017～2019年度

《GAIN 2020》 **G**lobalization, **A**cceleration and **I**nnovation for the **N**ew generation
 グローバルに、スピード感をもってイノベーションを推進し、新たな時代を切り拓く

基本方針	1 顧客起点での事業推進	計数目標	売上高	620億円
	2 全社的な生産性向上		営業利益	25億円



- | | | |
|------|-----------------------|--------------------------|
| 取り組み | ① 機構改革 (ビジネスユニット化) …… | 顧客起点で最適な事業戦略を迅速に展開 |
| | ② 次世代事業の創出 …… | 将来を担う事業の創出に積極的に挑戦 |
| | ③ グローバル展開の加速 …… | アライアンス活用とダイレクトマーケティング |
| | ④ 最適生産の推進 …… | グローバル競争に勝てる製品供給体制の確立 |
| | ⑤ コトづくりの強化 …… | モノづくり+コトづくりによる新たな顧客価値の創造 |

《GAIN 2020》取り組み

-顧客起点での戦略展開

ネオシールド（抗がん剤調製・投与クローズドシステム）

…規格を拡充し、医療従事者の抗がん剤暴露リスク低減を推進

新型血液透析装置「GC-X01」の開発

…多様な血液濾過透析療法に対応し、患者さんのQOL向上に貢献

-次世代事業の創出

癒着防止材の治験開始…生分解性材料の技術を整形外科向けに展開

-グローバル展開の加速

タイに合弁会社設立（4月）…伸長するASEAN市場へコア事業を展開する基盤構築

-最適生産の推進

フィリピン新工場の操業拡大…ボリュームアップと生産品目増加が着実に進行

-コトづくりの強化

バイオデザイン※講座への参画…医療現場と連携した新たな課題解決方法の探索

※医師や技術者の医工連携を中心に工業デザイナー、薬剤師など多様なメンバーで医療現場に入りながら、革新的な医療機器開発につなげる手法を実践的に学ぶ。広島大学と広島県による共同研究講座に参画。

トピックス



※日付： お知らせ開示日

-カテーテル接続システム「ツインシールド」販売開始
2018年4月18日

-遠心ポンプ駆動装置「ECmoVA」を販売開始
2018年3月29日

-医療用軟質容器に関する特許権侵害訴訟の判決についてのお知らせ
2018年3月6日

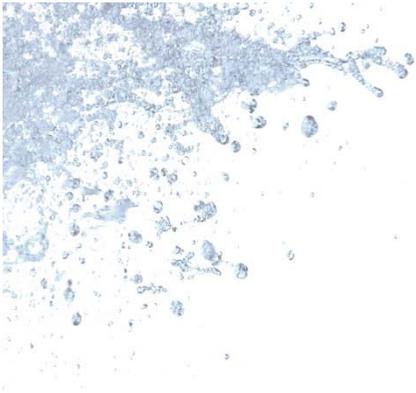
-合併会社の設立に関するお知らせ
2018年2月8日



遠心ポンプ駆動装置「ECmoVA」



カテーテル接続システム「ツインシールド」



人と医療のあいだに…

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。